

中学校第 1 学年 技術・家庭科学習指導案

1 題材名 情報通信ネットワークと情報モラル

2 題材について

- 本題材は、学習指導要領「D 情報に関する技術」の、「(1)ウ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えること」の内容であり、「情報通信ネットワーク上のルールやマナーの遵守、危険の回避、人権侵害の防止等、情報に関する技術の利用場面に応じて適正に活動する能力と態度を育成する」の項目に関する題材である。平成 29 年 6 月に出された学習指導要領解説には、新たに「情報セキュリティ」や「ネット依存」という言葉や、「情報通信ネットワーク上で根拠の不明確な情報が拡散することで、当事者が不利益を被るといったいわゆる『風評被害』など、情報の発信に伴って発生する可能性のある問題を取り上げ、情報通信ネットワークに情報を発信する前にその真偽を確認し、曖昧な情報はむやみに拡散することがないようにといった発信者として担うべき責任についても指導する」という記述が盛り込まれ、情報モラルの重要性は増してきている。

私たちの生活を考えると、インターネット上での誹謗中傷やいじめ、犯罪や違法・有害情報などの問題が多発している現状がある。技術科の目標は、情報社会に積極的に参加し、よりよい社会にするために貢献しようとする意欲的な態度を養うことを目指している。このことから考えて、情報モラルとは情報化の「影」の部分を理解することがねらいではなく、情報社会やネットワークの特性の一側面として影の部分を理解した上で、よりよいコミュニケーションや人と人との関係づくりのために情報手段を上手に賢く使う判断力や心構えを身に付けるものと考え。

本題材では、情報を伝える相手を意識しながら、適切に情報を活用するための知識と技能を身に付け、友達同士のよりよい人間関係づくりについて考えさせたい。具体的には、SNS 上でのトラブルについて、仲間同士が相互に会話できる機能を活用し、友達同士の関わり方について考えを深めることをねらっていきたい。

- 本学級の生徒に、情報に関する技術についての実態を把握するため、アンケートを実施した。

①インターネットに接続できる携帯電話や情報端末を持っていますか。

32 名中 25 名が「所持している」と回答

②インターネットを利用する頻度はどれくらいですか。

32 名中 31 名が「週 1 日以上利用している」と回答

③メールや LINE 等で、メッセージのやり取りをしたことがありますか。

32 名中 26 名が「やり取りの経験がある」と回答

④情報端末を利用するときに、家庭でのルールがありますか。

32 名中 15 名が「ある」と回答

アンケートの結果から、ほとんどの生徒がインターネットに接続できる情報機器を所持していることが分かる。また、③のメールや SNS を利用したメッセージのやり取りを行った経験がある生徒は、32 名中 26 名で、学級全体の 8 割を超える結果となった。④の「情報端末を利用するときに、家庭でのルールがありますか」の問いには、32 名中 15 名があると回答しており、約半数の家庭で、使用時間や使用時間帯のルールが存在している結果となった。

- 指導にあたっては、SNS を利用した題材を取り上げ、情報モラルに関して生徒一人一人が身近な問題として考える場面を設定したい。情報の発信者と受信者の間には、発信者の意図とは異なるコミュニケーションが生じることを体験的に理解させ、インターネットを利用する上でのルールやマナーについて考えさせたい。また、当事者の立場で考えたり、傍観者の立場で考えたりする場面

を設定し、自分の考えを伝え合う学習活動を取り入れたい。情報を複数の視点から話し合う活動を通して、情報を適切に伝えようとする態度を育成したい。さらに、正しく安全に情報を扱おうとすることで、生徒のコミュニケーション能力の向上を期待したい。そして、保護者に意見や感想を書いてもらう機会を設定することで、情報発信時の注意点を保護者にも伝え、他の学習活動や日常生活の中で活用していくことをねらっていきたい。

3 題材の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
よりよい社会を築くために、情報に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。	よりよい社会を築くために、情報に関する技術を適切に評価し活用している。		コンピュータにおける基本的な情報処理の仕組みと情報通信ネットワークにおける安全な情報処理の仕組みについての知識を身に付け、情報に関する技術と社会や環境との関わりについて理解している。

4 題材の指導計画（全5時間）と評価規準

時間	学習活動	評価規準
1	コンピュータの構成を知り、デジタル化の方法を知る。	○コンピュータを構成する主な装置と、基本的な情報処理の仕組み、情報をコンピュータで利用するために必要なデジタル化の方法についての知識を身に付けている。 【知識・理解】
2	ネットワークの構成を知り、情報を伝達する仕組みを知る。	○インターネットなどの情報通信ネットワークの構成と、安全に情報を利用するための基本的な仕組みについての知識を身に付けている。 【知識・理解】
3	ネットワークの危険性と安全対策を知る。	○著作権や、情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と、発信者としての責任についての知識を身に付けている。 【知識・理解】
4	情報の取り扱いに関して、トラブルに遭遇したとき主体的に解決を図ろうとしている。	○自他の情報の取り扱いに関して正しい知識を持ち、トラブルに遭遇したとき主体的に解決を図ろうとしている。 【関心・意欲・態度】
5	知的財産の保護の仕方を考える。	○情報に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を見いだしている。または、見いだそうとしている。 【関心・意欲・態度】 【工夫・創造】

5 第3時の目標

- インターネット上に情報を発信する際の責任を知り、発信者としての責任についての知識を身に付ける。 【知識・理解】

6 第3時の展開 (…評価：A…十分満足, B…おおむね満足, ●…努力を要する状況と判断した生徒への指導)

過程	学習活動	指導上の留意点	教具等
導入	1 アンケート結果を知る。 2 SNSには、LINE の他にも、Twitter, Instagram 等、様々なアプリが存在することを知る。 3 本時のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> 情報端末の利用状況を伝える。 天気予報や調べ学習に利用している友達の活用事例を紹介し、便利なものであることに気付かせる。 情報端末の利用では、動画閲覧と LINE による連絡が上位の1位と2位だったことを知らせ、友達も利用していることを理解させる。 めあてを提示し、学習内容を明確にさせる。 	IWB
	インターネット上に情報を発信する際の注意点について考えよう。		
展開	4 動画を視聴し、かずきさんのどのような行動が問題だったのかを話し合う。 5 かずきさんと周りの人が、今後どのようなになってしまうのかを話し合う。 6 インターネットのどのような特性によって、かずきさんの投稿が広まったのかを話し合う。 7 インターネットに写真を投稿するときには、どのようなことに気を付けたらよいかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> YouTuber という職業にふれ、ネット上への投稿が簡単にできることの理解を深めさせる。 「炎上」という言葉を紹介し、非難が殺到し收拾が付かなくなる状況が起きていることに気付かせる。 かずきさんの家族やお店の人の立場からも考えさせる。 情報の公開性と、情報の記録性について、色ペンで記述させ、理解を深めさせる。 写真には、肖像権以外にも、ジオタグという情報が添付していることを理解させる。 	ワークシート ビデオ(9分) IWB インターネット PowerPoint
	<ul style="list-style-type: none"> インターネット上に情報を発信する際の責任を知り、発信者としての責任についての知識を身に付けている。 【知識・理解】 A 公開性と記録性の両方の視点から、情報を正しく安全に扱う方法を理解している。 B 公開性が記録性のどちらかの視点から、発信するときの注意点を理解している。 ●→公開性と記録性の特性について再度考えさせる。 		
まとめ	8 学んだことを保護者に伝えて、意見や感想をもらって伝える。	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を生活につなげていくために、保護者からコメントを記入してもらうことを伝える。 	

7 第 4 時の目標

- ・ 自他の情報の取り扱いに関して正しい知識を持ち、トラブルに遭遇したとき主体的に解決を図ろうとする。 【関心・意欲・態度】

8 第 4 時の展開 (…評価：A…十分満足，B…おおむね満足，●…努力を要する状況と判断した生徒への指導)

過程	学習活動	指導上の留意点	教具等
導 入	1 前時の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ めあてを提示し，学習内容を明確にさせる。 	
	2 本時のめあてを知る。		
展 開	SNS の利用法について考え，トラブルがあったときの対処法を考えよう。		PowerPoint ワークシート
	3 SNS のグループトーク機能について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ LINE のグループ機能について紹介し，使ったことがない生徒にも，既読機能等を説明し，今後使用する可能性があることに気付かせる。 	
	4 次郎は，なんと書き込むかを予想する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由に発言させる。 	
	5 次郎が退会した理由を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 君の書き込みは，歩きか自転車か等の方法を尋ねた書き込みであり，A 君と次郎君の間には，異なる考え方があるかもしれないことに気付かせる。 ・ 短文は誤解を招く可能性が大きいことに気付かせる。 	
	6 当事者の立場と傍観者の立場の両方から考えさせ，個人の意見をワークシートに書く。		
	7 当事者の立場と傍観者の立場の両方から考えさせ，どのような行動を取るべきなのかを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペア学習を行い，それぞれの立場でどのような行動が取れるのかを考えさせる。 ・ ペア学習後の考えを，ワークシートに記述させる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の取り扱いに関して正しい知識を持ち，トラブルに遭遇したとき主体的に解決を図ろうとしている。 【関心・意欲・態度】 A 発信した情報に対する責任を知り，トラブルに遭遇したときに解決を図ろうと努力している。また，自分が情報を発信する際には誤解をまねかないように配慮することができる。 B 発信した情報に対する責任を知り，トラブルに遭遇したときに解決を図ろうと努力している。 ●→当事者や傍観者の場面を考えさせ，解決する方法の具体を考えさせる。 		
ま と め	8 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字だけでは真意が伝わりにくいことや，単文は誤解をまねくことに気付かせ，理解を深めさせる。 	